



ふるさとゆかりの偉人マンガ 「ヤマトタケル・オトタチバナヒメ」の発行について

このたび、亀山市教育委員会は、B&G財団の「ふるさとゆかりの偉人マンガの製作と活用事業」の助成を受け、亀山市にゆかりの深いヤマトタケルとオトタチバナヒメを題材としたマンガを作成しました。

この事業は、B&G海洋センターが所在し、活動評価がA以上の自治体が助成対象となるもので、令和3年12月にB&G財団からの申請提案もあり、亀山市にゆかりの深いヤマトタケルとオトタチバナヒメを題材としたマンガ製作の実施について助成決定を受けました。事業費は300万円で、その全額が助成されるものです。

古代に編さんされた歴史書である「古事記」「日本書紀」に記されたヤマトタケル・オトタチバナヒメの物語は、「三重」の地名や「亀山」の地名由来などとも大きくかかわっており、現在小学校で使用している地域副読本「亀山にまつわる人・もの・こと」にも記載されています。亀山市が東西日本の境界域にあたり、古くから交通の要衝として人々が行きかう中で積み上げられてきた独自の風土についての理解を深め、「ふるさと亀山」への誇りの醸成につながると考え、そのモデルパーソンであり後世に語り継ぎたい人物としてこの二人を取り上げました。

マンガは6,000部作成し、市内の小学校に3年生以上の児童数分、中学校には全生徒数分を配置するほか、市立図書館や市内の地区コミュニティセンター、歴史博物館などに配置し、多くの市民の皆さんにもご一読いただけるようにします。また、マンガの執筆は、亀山市のご出身・在住で、小学生の保護者でもある、デザイナーの小林はなさんにお願しました。

ふるさとの偉人に関するマンガを製作・配布・活用することで、亀山市の未来を担う小・中学生等のふるさとへの興味・関心が向上し、地域への愛着心を育むきっかけにつながっていくことを願っております。